

元会長 故 飯塚 進先生を偲んで



2004年3月 台湾太魯閣峡谷にて撮影

東海大学海洋学部海洋科学科

馬場 久紀

飯塚 進先生，謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に，先生との思い出を書かせていただき，ここに哀悼の意を表したいと思います。

飯塚先生は一昨年（2016年）から肝臓を患われ，入退院を繰り返されました。昨年暮れには，治療の甲斐があって肝臓は完治されたと伺っていたのですが，治療の副作用のため病状が急変して再入院，2018年8月6日にお亡くなりになりました。享年82歳でした。

先生は物理探査学会において，1984年～2001年に理事，1992年～1996年に物理探査学会副会長，1997年に第50代物理探査学会会長の要職を歴任されました。

飯塚先生は，北海道大学を卒業され，通商産業省工業技術院地質調査所（当時）に入所されました。地質調査所時代には観測に向き合う姿勢から「鬼の飯塚」という異名があったと聞き及んでいます。このことは，当時よりたくさんの爆破地震動観測に参加され，これらの現場で調査研究に邁進されてきたことを物語っています。私も爆破地震動観測が行われるたび，陸上地震探査機材が入った地質調査所のコンテナから運び出される段ボールに「飯塚」と書かれた観測機器がたくさん出てきたのを覚えています。ま

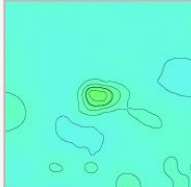
た海洋調査においても活躍され、1960年代には日米政府間科学協力の一環でアメリカ西海岸シアトルの沿岸調査に参加、アメリカ海軍水路部調査船「サーベイヤー（3000トン）」に乗船されたときには、この調査で新たに発見された海山に「Iizuka Seamount」と命名され、アメリカの海山カタログに記載されています。

Seamount Catalog
Development and Maintenance by the EarthRef.org Database Team

Home | Help

Detailed Seamount Information

Iizuka Seamount VIEW ADD FILE ADD MULTIBEAM

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>Index</td><td>SMNT-424N-1319W</td></tr> <tr><td>Location</td><td>42° 21.00' N 131° 56.00' W</td></tr> <tr><td>Plate Age</td><td></td></tr> <tr><td>Region</td><td></td></tr> <tr><td>Plate</td><td></td></tr> <tr><td>Tectonic Setting</td><td></td></tr> <tr><td>Volume</td><td></td></tr> <tr><td>Shelf Edge</td><td></td></tr> </table>	Index	SMNT-424N-1319W	Location	42° 21.00' N 131° 56.00' W	Plate Age		Region		Plate		Tectonic Setting		Volume		Shelf Edge		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>Classification</td><td>Seamount</td></tr> <tr><td>Elongation</td><td></td></tr> <tr><td>Irregularity</td><td></td></tr> <tr><td>Oceanic Province</td><td></td></tr> <tr><td>Alternative Names</td><td></td></tr> <tr><td>Age</td><td></td></tr> <tr><td>Seamount Top</td><td></td></tr> <tr><td>Ocean Bottom</td><td></td></tr> <tr><td>Volcanic Activity</td><td></td></tr> </table>	Classification	Seamount	Elongation		Irregularity		Oceanic Province		Alternative Names		Age		Seamount Top		Ocean Bottom		Volcanic Activity	
Index	SMNT-424N-1319W																																			
Location	42° 21.00' N 131° 56.00' W																																			
Plate Age																																				
Region																																				
Plate																																				
Tectonic Setting																																				
Volume																																				
Shelf Edge																																				
Classification	Seamount																																			
Elongation																																				
Irregularity																																				
Oceanic Province																																				
Alternative Names																																				
Age																																				
Seamount Top																																				
Ocean Bottom																																				
Volcanic Activity																																				

BATHYMETRIC MAPS [1 SEAMOUNT MAP AND 0 REGIONAL MAPS]

■ Iizuka Seamount -- Predicted satellite bathymetry VIEW DOWNLOAD

GRID FILES [1 SEAMOUNT FILE AND 0 REGIONAL FILES]

MULTIBEAM RAW DATA FILES [5 FILES]

[Back](#)

飯塚先生は、地質調査所を経て1972年10月1日に東海大学海洋学部海洋資源学科に赴任されました。以後大学教員として2001年に退職されるまで、地質調査所時代の物理探査技術を生かした地下探査手法について鋭意教鞭をとられ、実習・講義は厳しく、穏やかな物腰の中に秘められた意志の強い教育者でもありました。

飯塚先生の教育的な実績としては、大学院博士課程における学位授与のほか、学部卒業論文は307題を超え、520人以上の卒業生が飯塚先生に直接指導を受けました。さらに早稲田大学教育学部においても「物理探査法」「地震学」等の講義を担当され、大変な功績を残されました。物理探査の基本は、詳細な地下の様子をまんべんなく描き出すことが重要であり、そのためには調査の準備を周到に行うことが必要だと常々話されていました。先生は常に調査現場に赴き、現地の様子をつぶさに見つめ、地下の様子を知る手がかりを得ることの教えてくださいました。このような哲学を実践するために、数多くの学生を引き連れて、大学近郊のフィールドのみならず、大学の調査船も利用し、音波探査・地下速度構造探査・磁気探査・地殻熱流量測定・地震観測等の幅広い分野で学生の指導に力を注がれました。

研究活動においては、西之島新島の調査を始め、夢の島発破、爆破地震動研究、南西諸島南部に至る地震活動調査にも力を入れられました。台湾の研究者との研究協力では、国境を越えた地震観測網の構築のほか、台湾東海岸花蓮縦谷における採石発破を利用した地下速度構造探査も実施されました。

飯塚先生は多趣味の人でもあり、国内外の旅行はもとより、読書・音楽鑑賞・美術鑑賞と多岐に渡る分野でのその造詣の深さは際立っておられました。大学を退かれてからは、ご自宅で園芸（特に花がお好きでした）・お孫さんへ料理を振るまう・奥様との映画鑑賞というように余暇を過ごされていました。海外旅行では、世界的遺産を巡りめぐられ、世界の有名箇所はほぼすべて回られたのではないのでしょうか。飯塚先生は、「飛行機もホテルも決めないで旅をする。飛行機に乗れなければ、そこに留まればよい。」という精神で旅を楽しまれていました。慎重に物事を進められる方でもあり、時にはワイルドな方でもありました。

以上のように、飯塚先生は教育・研究では「強靱な精神力と忍耐力」を兼ね備えた先生でした。ご家庭では良きお父さんと優しいおじいさん、そして何よりも奥様を大事にされるお人柄でした。

わたくしは、飯塚先生に教育から研究まで公私にわたり 30 年以上育てて頂いたことに心より感謝申し上げますと共に、その突然のご逝去に対し、心よりお悔やみを申し上げます次第です。